



是永 宙 議員

新型コロナウイルスワクチンとの関連性が疑われる後遺症について

問

コロナワクチン接種後に長期にわたって体調不良を訴える人への対応は

答

その人の症状を適宜把握して、国等へ伝えていきます。

ていきます。

問

後遺症を訴える人に対する長期的な経過観察や医療機関受診のための補助を、国や県に対して要望しているか。

答

健康福祉部長
ワクチン接種による後遺症に対しては、予防接種健康被害救済制度が確立されていることから、新たな制度を設けることは難しいと考えます。一方で、新しく開発されたワクチンなので、副作用については今後多くの事例を集積・分析されていく必要があります。ワクチン接種との関連性の確認を要する事例についても、その人の症状などを適宜把握して、県を通じて国等へ伝えていきます。

問

予防接種健康被害救済制度の市民への告知は。

答

健康福祉部長
接種券に同封している説明書や接種会場で配布する「接種後の注意点」などによりお知らせしています。

問

相談者の不安な気持ちに寄り添うため、具体的な対応が必要ではないか。

答

健康福祉部長
接種券の送付時や広報によつて、より分かりやすく、いつでも相談いただけることを、メッセージとして発信し

新型コロナウイルスワクチンの接種との関連性が疑われる後遺症や長期にわたる体調不良の相談が市民より寄せられており、同様の相談が増えているという新聞報道もあることを踏まえ問う。

副反応や体調不良が続く相談はこれまで11件寄せられており、そのうち9件が市内医療機関を受診されていますが、市以外の相談窓口として滋賀県や厚生労働省のコールセンターもあることから、全数までは把握していません。



その他の質問

○大規模災害時の指定管理施設での避難所開設について